

答 辞

厳しい冬の寒さも和らぎ、暖かな日差しと共に春の訪れを感じさせる季節となりました。

本日は私たち卒業生のために、このような素晴らしい式典を挙げていただき、誠にありがとうございます。船田理事長並びに渡邊学長、ご来賓の皆様、在学生から温かいご祝辞を頂きましたこと、卒業生一同、心より御礼申し上げます。

思い起こせば四年前、私たちは真新しいスーツに身を包み、この作新学院大学で新たな一步を踏み出しました。これから始まる大学生活に、期待と少しの不安を胸に抱き入学した日のことを、つい昨日のこのように覚えています。入学当初は、今までと異なる授業形式や、主体性・能動性が求められる学生生活に慣れず、戸惑うこともありましたが、周囲の方々に助けられ次第に馴染んでいきました。そして、日々の学業はもちろんのこと、サークルや部活動、ゼミナールを通じて、多くの仲間と出会い共に過ごした四年間は私たちに多くの経験と知識を与えてくれました。

本学で過ごした学生生活で私は、友人たちと共に勉学に励み、時に遊び、非常に有意義な時間を過ごすことができました。特に印象に残っているのは、資格取得に向け邁進した日々です。日商簿記二級の試験では、あと1点で合格を逃しました。そのときに「諦める」という考えが頭に浮かびましたが、応援してくれた周りの友人や指導して下さった先生方に支えられながら、3回目の試験で合格することができました。その後、一つ一つの努力が実り日商簿記一級、税理士科目の簿記論に合格し、大きな達成感を得ました。私がこのような大学生活を経て手に入れた宝は、「諦めない精神力」です。もう諦めてしまいたいという現状に陥ったとき、一步を踏み出すことで道は切り開くことができるのだと、身をもって経験することができました。

近年、新型コロナウイルスの影響により生活が一変し困窮している人も多い中、ウクライナをはじめとする世界各国の人々は更なる逆境に立たされており、恐怖と不安を抱えて過ごしています。一日も早く平和な日々が訪れることを心より願うと共に、大きな痛手を受けた社会経済の回復を祈っております。私が、このような時代に強く感じるのは、お互いに支え合い協力することの大切さです。これまで多くの方々に助けられ、今の私があります。私の成長を支えてくれた方々に感謝し、そして私自身も次の世代へ貢献できるよう誠心誠意これからの人生を歩んでまいります。

私たち卒業生は、本日を境に個々の未来に向け、歩み始めます。進む道は異なりますが、皆様への感謝の気持ちを忘れずに、本学で培った経験と知識を胸に、日々精進していきたいと考えております。

最期になりますが、今日まで私たちをご指導してくださいました諸先生方、学生生活の支援に尽力してくださいました職員の方々、大変お忙しい中ご臨席賜りましたご来賓の皆様にご改めて御礼を申し上げますとともに、今日まで成長を見守り続けてくれた家族に感謝致します。そして、作新学院大学の今後の益々の発展を祈念致しまして、卒業生代表の答辞とさせていただきます。

令和四年三月二十日
作新学院大学 経営学部 経営学科
第二十九期卒業生代表 加藤 由紀

